

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (総括)	4 安原 透	<p>1 野々市市第一次総合計画の中間見直しについて</p> <p>(1) 本市の市制移行と共に策定をされた「野々市市第一次総合計画」について、野々市市第一次総合計画期間の中間年を迎えるにあたり、これまで実施してきた施策の達成状況を踏まえ、また、本市を取り巻く新たな状況を整理し、「野々市市第一次総合計画」の後期期間のまちづくりを確実に推進し、将来都市像「人の和で椿十徳生きるまち」の達成を目指すため、来年度からの後期5年間に向けて、また市制施行10周年を展望して、野々市市第一次総合計画後期基本計画案への市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 「野々市市第一次総合計画」は本市が目指す、将来都市像実現への道しるべとなるべきまちづくりを進めるための、最も大切な計画という位置づけである。野々市を創り出すこと、野々市を初めて生み出すこと、という意味を込めて、本市の創生という言葉に掲げた「のいち創生総合戦略」と「野々市市第一次総合計画」との整合について、2つの施策をどのように捉えるか、「まちづくり」という視点も踏まえ、市長の所見を伺う。</p>
2	質問 (一問一答)	9 金村 哲夫	<p>1 土地区画整理事業のまちづくりについて</p> <p>(1) 石川県立大学周辺における新産業創出拠点の企業誘致に向けた進捗状況を問う。</p> <p>(2) 西部中央地区の健康福祉防災拠点における企業誘致に向けた進捗状況を問う。</p> <p>2 防災対策について</p> <p>(1) 地域防災力の向上を図る具体的な対策として、総合防災訓練を実施していますが、参加率を上げる対策を問う。</p> <p>(2) 避難勧告などの判断基準を問う。</p> <p>(3) 災害時における相互応援協定締結の趣旨とその内容について問う。</p> <p>3 手取川水系における濁水対策について</p> <p>(1) 昨年、大規模な斜面崩落と濃い濁り水が確認され、林野庁が応急対策を実施したと聞いていますが、本格復旧が実施されたのか、また、濁水情報の共有を問う。</p> <p>(2) 濁水の安全・安心を市民にどのように伝えるのかを問う。</p> <p>4 野々市市第一次総合計画について</p> <p>(1) 平成33年度後期目標値人口58,000人とした具体策を問う。</p> <p>(2) 市民協働によるまちづくりの後期5年間は、協働の実践を目指すとしているが、具体的な取り組みを問う。</p> <p>5 特養養護老人ホーム富樫苑の利用者・待機者の状況について</p> <p>(1) 富樫苑の利用者・待機者の過去3カ年の状況を問う。</p> <p>(2) 富樫苑の介護スタッフの職種と人数、人材不足の有無を問う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
3	質問 (一問一答)	3 馬場 弘勝	1 新市立図書館とのつてィ、来館利便性について	
			(1)	待望の新図書館は、平成29年11月に開館予定である。駐車場の収容能力、イベント時の混雑を考慮し、公共交通機関の利用促進についてどのような対策を講じるのかを問う。
			(2)	新図書館敷地内へのバスの乗り入れについて、それぞれのルートでの来館に際し、停留所を着眼点とした詳細について問う。
			(3)	新図書館の開館時間（午前9時～午後10時）に対応するバス運行時間の拡大について、所見を問う。
			2 市営墓地公園の墓地種類と使用申請者の資格要件について	
			(1)	今後25年間で整備される約4,000区画の墓地の種類について、どのような根拠のもとに、どのような割合で整備していく方針なのか。また、5年後の平成33年までに整備される約1,000区画については、どの種類の墓地をどのような割合で整備していく方針なのかを問う。
			(2)	墓地使用申請者の資格要件について、それぞれの種類の墓地に対して、どのような要件を想定しているのかを問う。
			3 旧粟田保育園跡地の利用について	
			(1)	現在、社会福祉法人による放課後児童クラブとして暫定的に使用されている旧粟田保育園跡地について、今後の整備方針と具体的な計画を問う。

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																		
4	質問 (一問一答)	1 五十川員申	<p>1 教職員の勤務時間を管理せよ</p> <table border="1" data-bbox="627 208 1493 439"> <tr> <td data-bbox="627 208 695 349">(1)</td> <td data-bbox="695 208 1493 349">2月に亡くなられた教職員の公務災害申請が勤務時間をきちんと把握していないことから書類が整わず、申請が出来なかったとあるが、今後同様の事が起こらないために行った是正措置をおしえてください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 349 695 439">(2)</td> <td data-bbox="695 349 1493 439">16年度から午後7時以降の時間外勤務や休日出勤を義務づけたとあるが、本市として16年度の勤務状況はどのように把握しているか？</td> </tr> </table> <p>2 外郭団体の公会計化を進めよ</p> <table border="1" data-bbox="627 490 1493 743"> <tr> <td data-bbox="627 490 695 609">(1)</td> <td data-bbox="695 490 1493 609">政府も行政の会計情報を、企業会計方式へ変更することを進めている。本市においても上下水道など企業会計方式に移行完了しているが今後企業会計方式を他の会計にも導入する予定はあるか？</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 609 695 743">(2)</td> <td data-bbox="695 609 1493 743">事業毎に企業会計方式で行うことが望ましいが、すべてをすぐにというのはコストパフォーマンス的にも適当ではない。まずは財団など外郭団体や市の所管する施設など企業会計化をしやすい部分から企業会計方式を導入してはどうか？</td> </tr> </table> <p>3 情報政策に関するPMO（Project Management Office）を設置せよ</p> <table border="1" data-bbox="627 795 1493 1344"> <tr> <td data-bbox="627 795 695 869">(1)</td> <td data-bbox="695 795 1493 869">本市webサイトがSSL対応したのはいつですか？</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 869 695 981">(2)</td> <td data-bbox="695 869 1493 981">本市webサイトのSSL認証が上手く設定されておらず端末やブラウザによっては閲覧がしにくい状況となっているが、本市としていつからこの状況を把握しているか？</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 981 695 1122">(3)</td> <td data-bbox="695 981 1493 1122">本市のwebサイトが見れない原因の一つが地方公共団体組織認証基盤の認証を使ってSSLを導入しているからですが何故地方公共団体組織認証基盤のSSL認証を使うことになったのか経緯を教えてください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1122 695 1196">(4)</td> <td data-bbox="695 1122 1493 1196">状況改善まで時間がかかっている理由を教えてください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1196 695 1344">(5)</td> <td data-bbox="695 1196 1493 1344">今後庁内部課関係なくICT技術を導入していく流れの中で素早い選択が迫られます。部課を横断して庁舎内の情報リテラシーを上げていく必要があります。今後現在起こっているwebサイト問題のような事にも素早く対応できるよう情報政策に素早く対応できる組織の確立をしてはどうか？</td> </tr> </table>	(1)	2月に亡くなられた教職員の公務災害申請が勤務時間をきちんと把握していないことから書類が整わず、申請が出来なかったとあるが、今後同様の事が起こらないために行った是正措置をおしえてください。	(2)	16年度から午後7時以降の時間外勤務や休日出勤を義務づけたとあるが、本市として16年度の勤務状況はどのように把握しているか？	(1)	政府も行政の会計情報を、企業会計方式へ変更することを進めている。本市においても上下水道など企業会計方式に移行完了しているが今後企業会計方式を他の会計にも導入する予定はあるか？	(2)	事業毎に企業会計方式で行うことが望ましいが、すべてをすぐにというのはコストパフォーマンス的にも適当ではない。まずは財団など外郭団体や市の所管する施設など企業会計化をしやすい部分から企業会計方式を導入してはどうか？	(1)	本市webサイトがSSL対応したのはいつですか？	(2)	本市webサイトのSSL認証が上手く設定されておらず端末やブラウザによっては閲覧がしにくい状況となっているが、本市としていつからこの状況を把握しているか？	(3)	本市のwebサイトが見れない原因の一つが地方公共団体組織認証基盤の認証を使ってSSLを導入しているからですが何故地方公共団体組織認証基盤のSSL認証を使うことになったのか経緯を教えてください。	(4)	状況改善まで時間がかかっている理由を教えてください。	(5)	今後庁内部課関係なくICT技術を導入していく流れの中で素早い選択が迫られます。部課を横断して庁舎内の情報リテラシーを上げていく必要があります。今後現在起こっているwebサイト問題のような事にも素早く対応できるよう情報政策に素早く対応できる組織の確立をしてはどうか？
(1)	2月に亡くなられた教職員の公務災害申請が勤務時間をきちんと把握していないことから書類が整わず、申請が出来なかったとあるが、今後同様の事が起こらないために行った是正措置をおしえてください。																				
(2)	16年度から午後7時以降の時間外勤務や休日出勤を義務づけたとあるが、本市として16年度の勤務状況はどのように把握しているか？																				
(1)	政府も行政の会計情報を、企業会計方式へ変更することを進めている。本市においても上下水道など企業会計方式に移行完了しているが今後企業会計方式を他の会計にも導入する予定はあるか？																				
(2)	事業毎に企業会計方式で行うことが望ましいが、すべてをすぐにというのはコストパフォーマンス的にも適当ではない。まずは財団など外郭団体や市の所管する施設など企業会計化をしやすい部分から企業会計方式を導入してはどうか？																				
(1)	本市webサイトがSSL対応したのはいつですか？																				
(2)	本市webサイトのSSL認証が上手く設定されておらず端末やブラウザによっては閲覧がしにくい状況となっているが、本市としていつからこの状況を把握しているか？																				
(3)	本市のwebサイトが見れない原因の一つが地方公共団体組織認証基盤の認証を使ってSSLを導入しているからですが何故地方公共団体組織認証基盤のSSL認証を使うことになったのか経緯を教えてください。																				
(4)	状況改善まで時間がかかっている理由を教えてください。																				
(5)	今後庁内部課関係なくICT技術を導入していく流れの中で素早い選択が迫られます。部課を横断して庁舎内の情報リテラシーを上げていく必要があります。今後現在起こっているwebサイト問題のような事にも素早く対応できるよう情報政策に素早く対応できる組織の確立をしてはどうか？																				

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 コミュニティバス「のっティ」の自動運転化推進について</p> <p>(1) 高齢ドライバーの事故多発、「ながらスマホ」事故、自転車が加害者になり巨額の賠償が求められるなど、高齢社会と世相を反映した対策が求められている。 (1)免許の自主返納 (2)違反への罰則強化 (3)自動運転などの新技術の開発への期待 (4)シェアへの取り組みで電気自動車、ハイブリッド車の導入促進など考えられるが、 (5)コミュニティバス「のっティ」の自動運転について、本市の取り組みを伺う。</p> <p>2 魅力的な街づくりのために、図書館を生かせ</p> <p>(1) 「街づくり」から生まれる新しい図書館の形、「街の課題を解決する図書館」を目指せ。 そのためには、図書館建設後、運営管理者と市民、行政側もすぐに協議し、対応できる仕組みを作っていただきたいが、市としてはどのように考えているのか伺う。</p> <p>3 野々市市こそ「若者会議」のイベントで将来を語る場を設けていくべき時ではないか</p> <p>(1) 将来を語る「若者会議」の条件として、 (1)過去、現在を語らない、将来を語る。 (2)35歳以下の若者を対象とする。 (3)日本中の若者を呼ぶイベントを開催する。 (4)野々市市の将来だけでなく、広域圏、日本や世界の将来を語る場にするのが考えられるが、「若者会議」を仕掛ける考えはないか。</p> <p>4 子どもの命、安全を守る日本版ネウボラ設置について、野々市市の対策を伺う</p> <p>(1) 妊娠、出産、子育てと切れ目なく支援する子育てのため、世代包括支援センター（日本版ネウボラ）設置し、特に「母子ともに過ごせる居場所づくり」について伺う。</p> <p>5 公会計制度改革について</p> <p>(1) 上下水道の次は学校給食費の公会計化を推進せよ。 公会計の今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>6 災害時に備えて</p> <p>(1) 避難所における空調設備の推進について 災害はいつ起きるかわからず、日本中が自然災害の危険性をはらんでいる。 国は避難所対策の一つとして、学校の体育館などの避難場所に指定されている施設において、空調設備の設置を推進しているが、本市の今後の計画について伺う。 (2) 聴覚障がい者の災害時の配慮について、本市の今後の取り組みについて伺う。</p> <p>7 性犯罪・性暴力被害者支援のために</p> <p>(1) 県内に性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの開設推進を働きかけよ。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）														
6	質問 (一問一答)	2 北村 大助	<p>1 本市公共施設予約状況案内システムについて</p> <table border="1" data-bbox="625 206 1465 595"> <tr> <td data-bbox="625 206 695 398">(1)</td> <td data-bbox="695 206 1465 398">総務省の「平成27年通信利用動向調査の結果」において、インターネットの利用動向で「13歳～59歳のインターネット利用は9割を上回っており、60歳～79歳のインターネット利用は上昇傾向」となっております。石川県の利用率は84.4%と全国平均より高い利用となっておりますが、平成28年度の本市施設予約状況案内システムにアクセスされたアクセス数はどのくらいあるのか伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 398 695 595">(2)</td> <td data-bbox="695 398 1465 595">現在、本市の体育施設・文化施設の予約状況をパソコン等で閲覧は出来るが、予約申請は窓口対応となっております。すでに予約システム導入済みの金沢市では、スポーツ施設利用件数の73.1%がインターネット予約で利用されています。本市も、具体的な施設予約システム導入の検討作業時期に来ているのではないかと思います展開を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 温泉スタンドについて</p> <table border="1" data-bbox="625 645 1465 927"> <tr> <td data-bbox="625 645 695 788">(1)</td> <td data-bbox="695 645 1465 788">平成23年6月に開設致しました田尻町の温泉スタンド事業ではありますが、5年が経過致しました。利用実績など現在の行政評価としてどのような見解を持たれているのか、温泉スタンドは地域資源というお考えを持たれているのか伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 788 695 927">(2)</td> <td data-bbox="695 788 1465 927">温泉スタンド・温泉水を活かした今後の活用策・次の具体的な事業展開のアイデアをお持ちなのか伺う。合わせて「野々市ブランド」に成り得る資源として、企画主導の大学連携や研究・市民提案型など建設的なものとして取り組んで行くのか伺う。</td> </tr> </table>	(1)	総務省の「平成27年通信利用動向調査の結果」において、インターネットの利用動向で「13歳～59歳のインターネット利用は9割を上回っており、60歳～79歳のインターネット利用は上昇傾向」となっております。石川県の利用率は84.4%と全国平均より高い利用となっておりますが、平成28年度の本市施設予約状況案内システムにアクセスされたアクセス数はどのくらいあるのか伺う。	(2)	現在、本市の体育施設・文化施設の予約状況をパソコン等で閲覧は出来るが、予約申請は窓口対応となっております。すでに予約システム導入済みの金沢市では、スポーツ施設利用件数の73.1%がインターネット予約で利用されています。本市も、具体的な施設予約システム導入の検討作業時期に来ているのではないかと思います展開を伺う。	(1)	平成23年6月に開設致しました田尻町の温泉スタンド事業ではありますが、5年が経過致しました。利用実績など現在の行政評価としてどのような見解を持たれているのか、温泉スタンドは地域資源というお考えを持たれているのか伺う。	(2)	温泉スタンド・温泉水を活かした今後の活用策・次の具体的な事業展開のアイデアをお持ちなのか伺う。合わせて「野々市ブランド」に成り得る資源として、企画主導の大学連携や研究・市民提案型など建設的なものとして取り組んで行くのか伺う。						
(1)	総務省の「平成27年通信利用動向調査の結果」において、インターネットの利用動向で「13歳～59歳のインターネット利用は9割を上回っており、60歳～79歳のインターネット利用は上昇傾向」となっております。石川県の利用率は84.4%と全国平均より高い利用となっておりますが、平成28年度の本市施設予約状況案内システムにアクセスされたアクセス数はどのくらいあるのか伺う。																
(2)	現在、本市の体育施設・文化施設の予約状況をパソコン等で閲覧は出来るが、予約申請は窓口対応となっております。すでに予約システム導入済みの金沢市では、スポーツ施設利用件数の73.1%がインターネット予約で利用されています。本市も、具体的な施設予約システム導入の検討作業時期に来ているのではないかと思います展開を伺う。																
(1)	平成23年6月に開設致しました田尻町の温泉スタンド事業ではありますが、5年が経過致しました。利用実績など現在の行政評価としてどのような見解を持たれているのか、温泉スタンドは地域資源というお考えを持たれているのか伺う。																
(2)	温泉スタンド・温泉水を活かした今後の活用策・次の具体的な事業展開のアイデアをお持ちなのか伺う。合わせて「野々市ブランド」に成り得る資源として、企画主導の大学連携や研究・市民提案型など建設的なものとして取り組んで行くのか伺う。																
7	質問 (総括)	5 宮前 一夫	<p>1 来春4月開設の、(仮称)発達相談センターについて。</p> <table border="1" data-bbox="625 981 1465 1182"> <tr> <td data-bbox="625 981 695 1070">(1)</td> <td data-bbox="695 981 1465 1070">(仮称)発達相談センターの開設にあたり、設置施設の基本的な考え方を伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 1070 695 1182">(2)</td> <td data-bbox="695 1070 1465 1182">(仮称)発達相談センターの、具体の名称、「子育て支援センター菅原」内に設置されるセンターの施設等の改装内容、職員配置数、組織体制などについて伺う。</td> </tr> </table>	(1)	(仮称)発達相談センターの開設にあたり、設置施設の基本的な考え方を伺う。	(2)	(仮称)発達相談センターの、具体の名称、「子育て支援センター菅原」内に設置されるセンターの施設等の改装内容、職員配置数、組織体制などについて伺う。										
(1)	(仮称)発達相談センターの開設にあたり、設置施設の基本的な考え方を伺う。																
(2)	(仮称)発達相談センターの、具体の名称、「子育て支援センター菅原」内に設置されるセンターの施設等の改装内容、職員配置数、組織体制などについて伺う。																
8	質問 (一問一答)	6 西本 政之	<p>1 教職員の勤務時間について</p> <table border="1" data-bbox="625 1236 1465 1451"> <tr> <td data-bbox="625 1236 695 1326">(1)</td> <td data-bbox="695 1236 1465 1326">学校現場と教育委員会が情報を共有し、長時間勤務の抑制に積極的に取り組め。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 1326 695 1393">(2)</td> <td data-bbox="695 1326 1465 1393">部活動の負担を軽減せよ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 1393 695 1451">(3)</td> <td data-bbox="695 1393 1465 1451">タイムカードを導入せよ。</td> </tr> </table> <p>2 任期付職員制度について</p> <table border="1" data-bbox="625 1505 1465 1706"> <tr> <td data-bbox="625 1505 695 1594">(1)</td> <td data-bbox="695 1505 1465 1594">現在採用している臨時・非常勤職員との労働条件の違いを具体的に示せ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 1594 695 1706">(2)</td> <td data-bbox="695 1594 1465 1706">現在採用している臨時・非常勤職員の中にも、任期付職員となる資格がある職員がいると考える。希望がある場合、任期付職員とすることで人材確保につながると考えるがいかがか。</td> </tr> </table> <p>3 発達相談センターについて</p> <table border="1" data-bbox="625 1760 1465 1908"> <tr> <td data-bbox="625 1760 695 1850">(1)</td> <td data-bbox="695 1760 1465 1850">市民協働による発達相談センターとは、どのようなものになるのか。運営方針を示せ。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="625 1850 695 1908">(2)</td> <td data-bbox="695 1850 1465 1908">適正な人員配置を求める。</td> </tr> </table>	(1)	学校現場と教育委員会が情報を共有し、長時間勤務の抑制に積極的に取り組め。	(2)	部活動の負担を軽減せよ。	(3)	タイムカードを導入せよ。	(1)	現在採用している臨時・非常勤職員との労働条件の違いを具体的に示せ。	(2)	現在採用している臨時・非常勤職員の中にも、任期付職員となる資格がある職員がいると考える。希望がある場合、任期付職員とすることで人材確保につながると考えるがいかがか。	(1)	市民協働による発達相談センターとは、どのようなものになるのか。運営方針を示せ。	(2)	適正な人員配置を求める。
(1)	学校現場と教育委員会が情報を共有し、長時間勤務の抑制に積極的に取り組め。																
(2)	部活動の負担を軽減せよ。																
(3)	タイムカードを導入せよ。																
(1)	現在採用している臨時・非常勤職員との労働条件の違いを具体的に示せ。																
(2)	現在採用している臨時・非常勤職員の中にも、任期付職員となる資格がある職員がいると考える。希望がある場合、任期付職員とすることで人材確保につながると考えるがいかがか。																
(1)	市民協働による発達相談センターとは、どのようなものになるのか。運営方針を示せ。																
(2)	適正な人員配置を求める。																

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
9	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 学校現場における業務見直しと教員の過労死等防止対策について</p> <p>(1) 富陽小学校教諭の公務災害申請の現況と見直しを伺う。</p> <p>(2) 教員の勤務時間の把握方法と、40時間以上、60時間以上、80時間以上超過勤務となっているそれぞれの人数を伺う。</p> <p>(3) 過去10年間において市立小中学校教員で勤務との関連が認められた脳・心臓疾患、うつ病等の発生状況と休職や退職に至った人数を伺う。</p> <p>(4) 教員の長時間過密労働の実態は深刻で、学校現場の業務の見直し・改善がされない限り過労死等の危険はなくなる。教員の長時間過密労働の解消、負担軽減に向けた具体的な取り組みを伺う。</p>
			<p>2 就学援助制度について</p> <p>(1) 子どもの貧困対策大綱においても、就学援助制度について「活用・充実を図る」とされており、文科省の小松親次郎初等中等教育局長も「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるよう十分配慮することなどを受け、ランドセル、かばん、制服などを揃えるために必要な入学準備金を入学に間に合うようにと3月に支給する流れが全国で急速に広がっている。白山市も3月支給となり、能美市も前向きな検討を始めている。本市においても3月支給にならないか伺う。</p> <p>(2) 文科省は「こどもの貧困対策に関する大綱」に基づいて全自治体の重要保護の認定基準の運用状況をまとめている。その中で示されている認定基準は 前年度または当該年度に、生活保護法に基づく保護の停止又は廃止、市町村民税の非課税や減免となっている方、個人事業税の減免、固定資産税の減免を受けている方など19項目ある。近隣市町を調べると、金沢市は15項目、白山市は10項目、能美市は14項目を認定基準としています。ところが、本市の認定基準項目は僅か5項目しかない。市の認定基準項目を県内他市並みに広げることを求める。</p>
			<p>3 介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>(1) 市民のニーズに合ったサービスの提供ができるというのが、ボランティアなどの非専門職によるサービスは、結局は重度化を招き給付費が増加する懸念がないと言えるか。また、非専門職への置き換えは今でさえ劣悪な介護職の賃金・待遇のさらなる悪化を招くことになるのではないか。</p> <p>(2) 個々の利用者のサービスをどうするのか、直接判断するのは市となり、市の姿勢が問われることになる。基本チェックリストありきではなく、高齢者と家族のくらしと権利を守る側に立って介護保険利用希望者には要介護認定申請を受け付けることを約束してください。</p>